

# 濤沸湖の概要

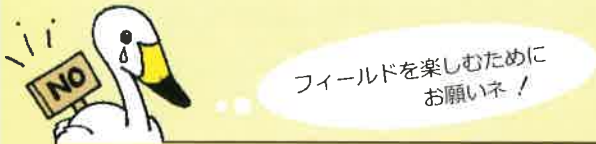
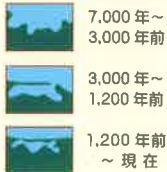
濤沸湖は、アイヌ語の「ト・プツ（湖の口）」を語源とする、周囲 27.3km、面積 900ha の海跡湖です。海岸草原と湿地に囲まれ、海水と淡水が入り交じった汽水湖で、四季折々に、水鳥や色とりどりの花々をはじめとした多種多様な生きものが集います。

ここでは 200 種を超す野鳥がみられ、国内有数の渡り鳥の中継地として重要な役割を果たしています。こうした貴重な環境により、濤沸湖は国指定鳥獣保護区及びラムサール条約登録湿地となっています。また、濤沸湖一帯は湿原と湖水が一体となった独特の景観を形成しており、網走国定公園に指定されています。



## \* 大昔は海だった濤沸湖

かつて濤沸湖はオホーツク海の一部でした。海的作用で堆積した土砂により砂州が発達し、海と隔てられることによって、およそ 3,000 年～1,200 年前に浅い汽水湖が形成されたのです。オホーツク海沿岸には、このようにして発達した海跡湖が 32 個も分布しています。



- 野生動物に食べ物を与えない・触らない
- 歩道はずれて湿地などにむやみに入らない！
- 動植物をとらない、脅かさない、傷つけない！
- ゴミは捨てずに自宅まで持ち帰る！
- ペットを放さない

## ACCESS MAP



## 交通のご案内

札幌	0:50	5:30	0:18	JR 網走駅	0:11	水鳥・湿地センター
東京	1:40			JR 北浜駅	0:04	白鳥公園入口
名古屋	1:50			網走駅		
大阪	2:10	0:25	0:30	網走駅		

女満別空港から 網走行きバス（約 25 分）  
 JR 網走駅から JR 北浜駅下車（約 18 分）徒歩 11 分  
 網走バス 小清水・斜里線  
 白鳥公園入口下車（約 30 分）徒歩約 4 分

## ご利用案内

開館時間 9:00 ～ 17:00  
 休館日 月曜日  
 （祝日の場合は次の平日）  
 年末年始 12/29 ～ 1/3  
 駐車場 普通 20 台 大型 5 台

※ センター及び付設の木道は車椅子及びベビーカーでもご利用いただけます。



## 濤沸湖 水鳥・湿地センター

〒099-3112 北海道網走市字北浜 203 番 3 地先（白鳥公園隣り）  
 TEL / FAX 0152-46-2400  
 e-mail tofutsu-ko@city.abashiri.hokkaido.jp  
 URL <http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/>（網走市）



## みどころMAP



## ラムサール条約への登録

澱波湖は、渡り鳥の大規模な飛来地として国際的に重要な湿地であることが認められ、野付半島・野付湾、風蓮湖・春国岱などととも、平成17年にラムサール条約登録湿地となりました。

## 澱波湖が選ばれたポイント

- 汽水湖、低層湿原で我が国を代表する湿地である。
- タンチョウ（絶滅危惧Ⅱ類、国内希少野生動植物種）が生息する。
- 汽水湖、塩性湿地、淡水湿地など多様な自然環境を背景に、多様な植物、ガンカモ類、タンチョウ、底生生物などが生息し、生物多様性が高い。
- 渡りの時期のガンカモ類の最大渡来数が約67,000羽となっており、定期的に2万羽以上の水鳥を支えている。（平成17年の数値）
- オオハクチョウを含む5種類の水鳥について、東アジア地域全体で確認される個体数の1%以上を定期的に支えている。

## 保全とワイズユースの取り組み

湿地の保全・再生とワイズユース\*、交流・学習（CEPA）がラムサール条約の3つの柱です。



\*ワイズユース = 賢明な利用。生態系を損なわずに、そこに暮らす人々の生活や産業活動との調和を図りながら、湿地の恵みをかきこく使い続けること。

## 『澱波湖及び周辺域の環境保全推進協議会』の設置

澱波湖周辺では自治体や漁業者、農業者が澱波湖の環境について検討や協議を行う協議会が設置されています。自然環境の保全とワイズユースの推進を目指し、流域の関係者が一体となって活動しています。平成23年度には『澱波湖環境保全活用ビジョン』の策定に協力しました。また、毎年1回の清掃活動を実施しています。

## 澱波湖 × 漁業

澱波湖では、ワカサギやスジエビ漁、カキの養殖などが営まれています。漁業者は、魚種ごとの漁期や漁法に関する自主的制限などを設定しているほか、湖周辺のごみ拾いやバトロールなどの環境保全活動を続けています。

## 澱波湖 × 農業

湖の南側はじゃがいも、ビート（砂糖大根）、小麦などの広大な畑や牧草場が続き、季節毎に違った風景が楽しめます。酪農家、畑作農家、澱粉工場が連携し、湖への環境負荷の少ない循環型農業を行なっています。

## 澱波湖 × 花

湖岸の一部では、花々を維持するため、馬の放牧、火入れ、帰化植物の除去活動などが行われています。

## 花

澱波湖畔の湿地や小清水原生花園では、短い夏の間色とりどりの花が咲き誇ります。



ミスバショウ  
4月下旬～5月上旬



センダイハギ  
5月下旬～6月下旬



ヒオウギアヤメ  
6月中旬～7月上旬



ハマナス  
6月中旬～9月上旬



エソスカシュリ  
6月下旬～7月中旬



エソキシゲ  
6月下旬～7月下旬

## 鳥

澱波湖では1年を通して様々な野鳥が見られます。夏には草原の鳥が、春や秋はシギ・チドリ類やガン・カモ類が、冬にはオオワシが飛来します。



トウネン  
旅鳥（春、秋）



オオハクチョウ  
旅鳥（一部冬鳥）



オナガガモ  
旅鳥（一部冬鳥）



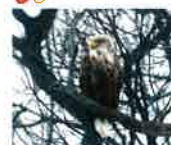
カワアイサ  
冬鳥



タンチョウ  
夏鳥



ノゴマ  
夏鳥



オジロワシ  
留鳥（通年）  
（一部冬鳥）



オオワシ  
冬鳥

## 哺乳類



エソリス  
鳥年



キタキツネ  
鳥年

## 昆虫



ゴトウアカメイトトンボ  
成虫：7月～8月



カラフトキリギリス  
成虫：8月～9月